

2011.3.14

東北地方太平洋沖地震 ヘリ調査報告

調査日：平成 23 年（2011 年）3 月 14 日

搭乗者：本省砂防部保全課 佐藤保之企画専門官

国土技術政策総合研究所 危機管理技術研究センター

砂防研究室 水野秀明主任研究官

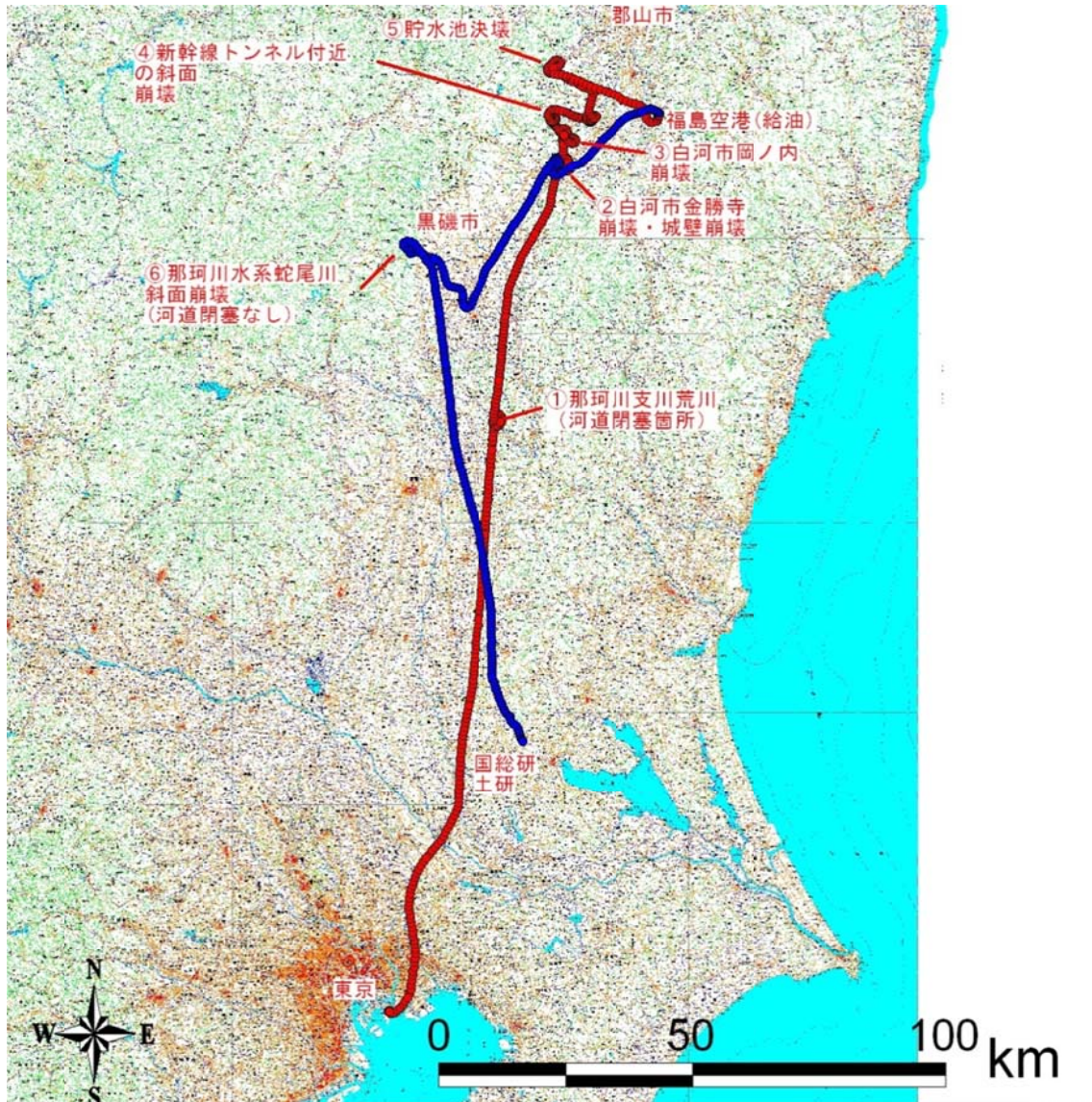
林真一郎研究官

独立行政法人土木研究所

土砂管理グループ地すべりチーム 杉本宏之主任研究員

調査ルート：別紙のとおり

調査ルート図





①那珂川支川荒川での河道閉塞 栃木県那須烏山市小倉地区

崩壊による河道閉塞が生じたものと考えられるが、調査時点において、BH 3 台程度による作業が行われており、また、下流への通水が確保されていることから、緊急性は低いと考えられる。



②白河市葉ノ木平地区

崩壊性の地すべり（幅約 70m、長さ約 100m）で、土塊が流動化したものと見られる。



③白河市岡ノ内地区

斜面の脚部の崩壊性の地すべり（幅約 50m、長さ約 100m）。堆積土砂は既に撤去されている。



④新幹線トンネルの付近の斜面崩壊（写真奥側 福島県白河市中丸地区付近）  
トンネル付近の斜面に崩壊が見られた。



④新幹線トンネルの付近の斜面崩壊（写真奥側 福島県白河市中丸地区付近）



⑤福島県須賀川市藤沼貯水池からの湖水流出による下流集落への被害  
 (下流集落側から貯水池を撮影)

貯水池の決壊により、下流の集落に被害が発生している。



⑤福島県須賀川市藤沼貯水池からの湖水流出による下流集落への被害  
 (被災集落から下流を撮影)

河道塞埋が生じているものの、滲筋が形成されており、また、河道塞埋の高さが低いことから、決壊による被害の可能性は少ないと考えられる。





⑤福島県須賀川市藤沼貯水池からの湖水流出による下流集落への被害

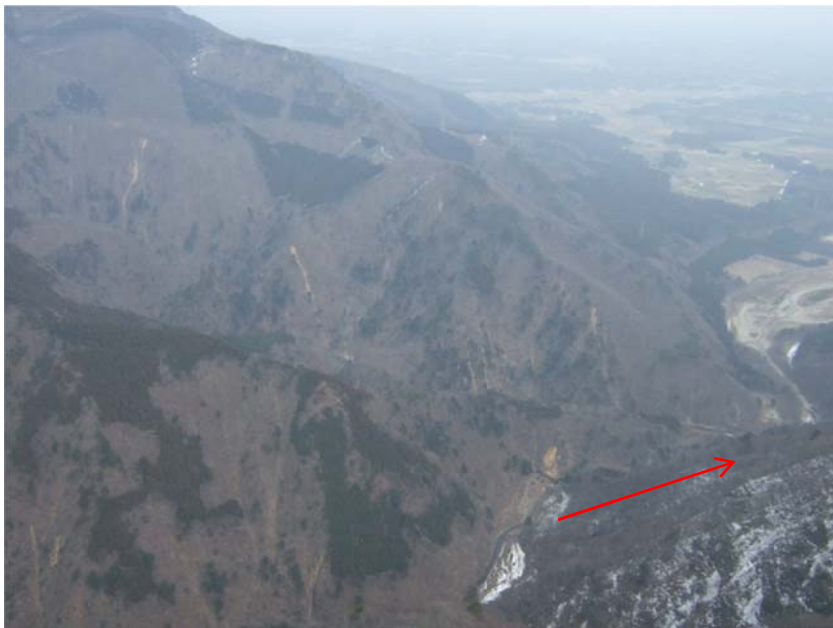
(貯水池側から下流を撮影)

湖水のほとんどが下流へ流出している。



⑥那須塩原市 蛇尾川ダム

ダム下流右岸に小規模な崩壊あり。河道埋塞は生じていない。



⑥那須塩原市 蛇尾川ダム下流

ダムから平野部に出るまでの区間において、山地に複数の小規模な崩壊がある。

以上